

栃身協のたより

第 31 号

発行日 平成 26 年 1 月 1 日
発行所 栃木県身体障害者団体連絡協議会
宇都宮市若草 1-10-6
とちぎ福祉プラザ 2 階
☎・Fax 028-678-4401
E-mail info@tochi-shinkyo.org



新年のごあいさつ

栃木県身体障害者
団体連絡協議会会長
麦倉 仁巳

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
会員の皆様はじめ関係者の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、予想だにしなかった小川前会長の急死に伴い、図らずも 7 月から当協議会会長に就任したわけですが、五里霧中のなかでも各種事業を無事遂行できましたことは、ひとえに関係各位の御協力の賜と改めて感謝申し上げます。

国においては、障害者総合支援法をはじめ障害者虐待防止法、障害者優先調達推進法、障害者差別解消法などが施行され、私たち障害者を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。

県においても、新とちぎ障害者プラン 21において「育む、暮らす、働く、楽しむ、共に生きる」をテーマに、障害者の自立と社会参加を支援していただいているところです。

私たち障害者団体も、これらの変化を的確に把握し、新たな課題等に取り組むとともに、障害者が住み慣れた地域で安心して希望の持てる生活ができるよう、行政や関係団体と共に働く必要があります。

また、地震や台風等自然災害が多発している今日「障害者のお手伝いをしたいがどのように接すればいいのかわからない」という声を時折耳にします。地域福祉を推進していくためには、市町障害者団体のみならず、それぞれの地域の皆様に障害特性を理解していただくための活動も必要となります。

年頭にあたり、改めて福祉ということについて考えますと“人と人とのつながり”が基本であり、障害の有無・種別を超えた「出会い、ふれあい、支え合い」の精神が大切であると再認識したところです。

今後とも、県、市町、関係団体等の御支援、御指導を仰ぎつつ、栃身協の更なる発展に努めて参りたいと思っております。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げまして新年のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ

栃木県保健福祉部長
名越 究

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
麦倉会長を始め、栃木県身体障害者団体連絡協議会の皆様には、日頃から本県の障害保健福祉施策の推進に御理解、御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、4 月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行され、6 月には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が成立し、更に12 月には障害者権利条約の締結が承認されるなど、平成 22 年から集中的に進められてきた障害者に関する制度改革が大きく結実した年となりました。

そのような中、国の「障がい者制度改革推進会議」の議長を始め、制度改革の牽引役を務めてこられた小川榮一前会長が昨年 6 月に急逝されましたことは、誠に痛恨の極みであり、心からお悔やみを申し上げますとともに、生前の御尽力に対し改めて深く感謝を申し上げる次第です。

本県では、現在、栃木県障害福祉計画（第三期計画）により、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを具体的に進めるため、各種の地域生活支援事業を展開し、質の高い相談支援体制の整備や障害者の社会参加の促進、障害に対する理解の促進等に取り組んでいるところでございます。

今後とも引き続き、障害の有無に関わらず、県民誰もが互いの個性や人格を尊重し合い、共に支え合う「共生社会」の実現に向けて、貴会を始め関係団体の皆様との緊密な連携の下、「オール栃木体制」で努力して参りたいと考えておりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願ひいたします。

結びに、貴会のますますの御発展と皆様の御多幸、御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

(2) 栃木県民福祉のつどい

第19回 栃木県民福祉のつどい

平成25年8月28日(水)に、第19回栃木県民福祉のつどいが宇都宮市文化会館大ホールにおいて開催されました。

この福祉のつどいは、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」におけるノーマライゼーション社会の実現に寄与することを目的に開催されました。

大会は、第1部が式典で、栃木県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰他4団体による会長表彰が行われ、障害者関係では、栃木県知事表彰3名、栃木県身体障害者団体連絡協議会会长表彰22名が受賞されました。

第2部では、タレントの毒蝮三太夫さんが、「ラジオ放送の現場で見たこと聞いたこと～人々とやさしい関係があって地域は活性化する」と題して講演されました。



栃木県身体障害者団体連絡協議会会长表彰受賞者

(敬称略)

☆自立更生者（12名）

山本 純一（宇都宮市）	茂木 チカ（足利市）	柏倉 弘子（佐野市）
大平美枝子（鹿沼市）	倉井千恵子（鹿沼市）	羽二生啓子（日光市）
磯 徳夫（真岡市）	磯 俊夫（那須塩原市）	佐藤 友二（さくら市）
寺崎利江子（益子町）	神長 貢（塩谷町）	岡 秀一（那珂川町）

☆更生援護功労者（10名）

田村 正男（宇都宮市）	矢古宇照子（宇都宮市）	茂木 春夫（足利市）
鎌木 淳一（大田原市）	鈴木 和雄（大田原市）	稻見 和夫（さくら市）
川俣 正信（那須烏山市）	向田 一雄（芳賀町）	小島 慶一（壬生町）
田代 治夫（塩谷町）		

栃木県障害者文化祭

カルフルとちぎ 2013こころのつどい

平成25年11月1日(金)・2日(土)の両日、とちぎ福祉プラザをメイン会場に「カルフルとちぎ」が開催されました。

天候にも恵まれ、絵画・書・写真の展示、手工芸品・パン・クッキーなどの即売、各種模擬店、合唱・合奏・演劇などの芸能発表、カラオケ大会などが催され、多くの来場者で賑わいました。



総合相談所障害者交流会

関ブロ合同「友愛の集い」

平成25年9月7日(土)、コンセーレ(栃木県青年会館)において、平成25年度関東甲信越静ブロック合同「友愛の集い」が開催されました。

この集いは、男女の出会いの場を提供し、集いを通して相互の交流を深め、これから的人生を楽しく語り合える友人関係をつくり、自立の一助となることを目的として、各県市が持ち回りで開催しています。参加者総数は介助者、事務局を含め120名でした。

開会行事の後、各テーブル毎に自己紹介などをしながら、和気藹々のうちにコース料理をいただきました。午後は、栃木県障害者スポーツ指導員のリードで、参加者全員がレクリエーション・ゲームを楽しみました。今回の「友愛の集い」の出会いがきっかけとなって、多くのカップルが誕生することを期待しています。



(4) 栃身協たより

結婚相談の登録者を募集しています

対象費用 その他	県内に在住し結婚を希望する20歳から60歳くらいまでの方 無料 ・女性の登録者が少ないため、女性の方歓迎 ・関東各県での交流会にも参加できます。 ・登録は、面談のうえ所定の申込書2枚、写真2枚
-------------	--

結婚相談以外の総合相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。相談は無料です。

※相談日時：毎週水・土・日曜日（毎週第1日曜日と年末年始・祝日は休みです）

午前10時～午後3時

TEL・FAX 028-623-6353

栃木県身体障害者総合相談所：栃木県身体障害者団体連絡協議会内

身体障害者総合相談所の現況（平成24年度）

1 月別相談件数

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
内訳	男	7	11	34	9	11	17	36	22	8	8	1	4	168
	女	6	12	13	9	5	11	13	10	3	3	6	1	92

2 相談内容別件数

相談内容	就職	障害年金	身体障害者手帳	施設入所	法律	介護	住居	結婚	その他	計
件数	5	0	0	2	0	1	2	228	22	260

栃木県障害者社会参加推進センターホームページの紹介

<http://www.tochi-shinkyo.org/>



栃木県身体障害者団体連絡協議会
栃木県障害者社会参加推進センター

トップページへ戻る

文字サイズ変更 大 中 小

センターの業務紹介

事業のご案内

イベント情報

各種制度のご案内

障害者スポーツ協会



障害者関係団体一覧

県内の障害者団体を調べる事が出来ます。

» 新着情報

2013.09.27

社会参加活動助成事業(福祉バス代替)平成25年度の受付
は終了しました。

» サイト内検索

検索ワードを入力し、【検索】ボタンをクリックしてください。

検索

» お問い合わせ

[栃木県身体障害者団体連絡協議会情報誌「栃身協たより」](#)

会員以外にも広く参加を呼びかけたい講演会・研修会・旅行等の行事についてお知らせください。

ホームページのイベント情報サイトに掲載します。電話・メール等で御連絡ください。



この機関紙は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。